



会員数 30人

北九州プロバスケットクラブ月報

つながり

No. 194

令和4年8月号

2022. 8. 16

令和4年度定時総会・7月例会報告

会食のあと、午後1時から定時総会。会員30名中28名出席で総会が成立したことを報告。松永会員を議長に1～6号議案をそれぞれ担当者が説明、事業計画や予算案が承認された。

また、会則改正案も承認され、これまでの企画、親睦、広報、活性化の4委員会を例会、交流、広報の3委員会に整理統合することになった。年間例会の皆勤賞受賞者16名を表彰、集合写真を撮って無事、総会が終了、休憩ののち、例会に移った。

例会は古賀えみ子会員の卓話で始まった。総会を兼ねていたため、30分の短縮版、「私と北九州」のタイトルで、子どものころ、糸田町から小倉に遊びに来たときの思い出や成人になってバスガイドになり、北九州の街をガイドして回ったことを身振り、手振りを交えて報告、続いて、全日本事務局や、4委員会の最後の活動報告がなされ、同好会も世話人がそれぞれに参加を呼び掛けた。ショートスピーチは住会員、店の売り上げ金を持ったまま、ゴルフ場でプレー。カラスにバッグを開けられ、強風で紙幣が舞い散った失敗談を披露して、会場を和やかにさせた。

会員の動向では岩崎会員が6か月の休会後も体調が優れず、退会を決めた。

上記皆勤賞の皆さんは次の通り（敬称略）神田澄男、大川 力、古賀靖子、植田佐世子、洞ミヨ子、内藤康子、吉田信雄、橋本峰子、安河内幸子、住吉育代、柴村美和子、藤原智子、新城富美子、近藤哲生、大石照志、近藤弘子（安高）

卓話 「私と北九州」

古賀えみ子会員

総会があったため、卓話は30分の会員卓話。しかし、流れるようなおしゃべり。朗読会にでもいるような感じで、瞬間に時間になった。卓話を聞いてわかったが、元バスガイド嬢。人前でも物怖じしないわけがわかった。

生まれは糸田町、子どものころから活発で、お田植祭りの日に生まれたことから、母親から「あなたはいつもお祭りみたいな楽しい人生を送るのでしょうね」と言われたという。子ども時代は小倉に遊びに行くのは大都会に行く感覚で、デパートでお子様ランチを食べるのが楽しみだったという。



子どものころからバスガイドに憧れ、実現。北九州の定期観光バスの担当になり、大好きだった小倉の街を案内したという。そこで、いきなり、「遠くをご覧ください。教科書に載っている北九州工業地帯でございます」とガイド口調になり、北九州音頭の歌まで飛び出した。会員も突然の変化に大喜びで、拍手も沸き起こっていた。

この後、一転して真面目口調で「結婚して北九州に住み、起業をしてどうにか35年を迎えることができました。会社は少しずつ息子に任せ、こうしてプロバスケットクラブに入る余裕もできました」と説明、「ボランティア活動にも参加、たくさんのお友達ができました。これからはこの街に恩返しをしたくて、高齢者向けの情報誌を作りました。プロバスケット会員の皆様とこの街に社会貢献できたらなと思っています」と結んだ。また、この会場は原爆目標地点で、上空まで米軍機が飛んできたが、悪天候で目標を長崎に変えたため、長崎が悲惨な目にあったことを紹介、平和運動に関心を持ってほしいと呼びかけた（安高）

企画委員会 7月7日 3名出席

今期最後の企画委員会であったが、いろいろな都合で予定をしていた日時、場所を変えず・スチールハウスで少人数の開催となった。

今期1年間の反省と総括を話し合い、最後に委員と会員皆さんの協力のもと、無事に企画委員会の役割を果たしたことに全員で感謝をして解散となりました。(大石)

親睦委員会 7月12日 14名出席

湖月堂において最後の会議でした。議題としては8月の暑気払いの演目と、役割分担の確認をしました。楽しい会になれるように委員全員にお願いをして閉会をしました。皆さんお世話になりました。プロバスが、もっともっと盛会になりますように、祈念しております。(吉田秀)

活性化委員会 7月21日 8名出席

リーセントホテルでラストランを開催しました。1年前新たに発足した委員会として(短い期間ではありましたが)、毎回様々な提案と活発な意見交換のあった元気で楽しい会であったと自負しています。

最後に委員長として感謝の言葉を述べ、笑顔で散会しました。(近藤哲)

広報委員会 8月5日 9名出席

ホテルテトラ北九州で17時30分から開催。委員会が再編(予定)されて、新委員による初会合となったが、残念ながら1名が欠席され、全員の顔合わせとはならなかった。

先ず、「つながり9月号」の編集計画について協議を行い、続いて会報「Link23号」を11月15日に発行するため、作成スケジュールに添った進行状況の熱い!討論が交わされた。

終了後は少し遅い食事会となり、料理に舌鼓を、話題に花を咲かせて散会となった。(内藤)

全日本協議会の常任理事会を湖月堂で開催



委員長、近藤活性化委員長が出迎えた。

対面式の常任理事会が北九州で開催されるのは3年振り。まず別室で会計監査があった。引き続き、植田会長の歓迎の挨拶のあと、常任理事らが自己紹介しながら昼食会。その後、古賀靖子全日本会長の挨拶で常任理事会が始まり、11月の第10回総会に提案する議案について協議したほか、会長クラブが2期4年間の任期満了となる古賀全日本会長を擁する北九州プロバスクラブから東京・八王子プロバスクラブへバトンタッチするほか、奈良プロバスクラブが第11回総会開催のホストクラブに決まった。

なお、事務局会議を7月20日に開催、8月31日に東京・渋谷の代々木会館で開催する新旧合同理事会の案内状と議案を新旧常任理事、理事宛に郵送した。(松本)

全日本プロバス協議会の常任理事会が7月16日、会長クラブのお膝元、小倉北区の湖月堂で開かれた。参加したのは、旭川、東京八王子、鎌倉、大阪、奈良、北九州の各クラブから常任理事7名全員とオブザーバー1名、事務局幹事2名が参加。これに対し、北九州プロバスクラブは植田会長をはじめ大石企画委員長、吉田親睦委員長、内藤広報

同 好 会 活 動 報 告

🎵 カラオケ同好会 🎵

7月15日11時から、プロバス会員6名が「アサノパテオ」にて、元気にカラオケを楽しみました。飲んで食べて自慢の喉を披露し、コロナパンデミックにも負けていません。92歳の吉田信雄さんは年齢を感じさせません。次回はもう少し多くの人の参加を希望します。（安河内）

🎵 歌をうたう会 🎵



7月20日、今回は8月の暑気払いでの「コーラス発表」に向けて、カラオケの会との合同練習でした。「夏の思い出」と「ふるさと」を二部合唱します。よく知っている曲もハーモニーが付くと一段と素敵になりますね。まだまだ音程を取るのに楽譜と首っ引きですが、植田先生の「あら、きれいじゃないですか」の言葉に気を良くして、ハーモニーを楽しみながら練習ができました。教わったことを忘れずに、本番ではみんなで心と声を合わせて楽しく歌います(近藤弘子)

🎵 川柳を楽しむ会 🎵

川柳は万能川柳、サラリーマン川柳 新聞社主催の朝日川柳など、最近広く一般の庶民の間で浸透してきました。

川柳が愛されている要因は、短歌や俳句とは異なり形にはめられないことです。

人気のサラリーマン川柳などは窮屈な社会から抜け出して、短い5・7・5の17文字の中で、サラリーマンの心情や現状に共感を得ることで広がりを見せてきました。シニアの川柳は体力、知力の衰えなど皆に共通する難点を、ポジティブに表現することでユーモラスに心癒されるのです。

●ダンスだけハグする抱きしめオールパス

神田澄男

●あらあなた 若くなったわ 夢で会い

吉田秀子

当会は時にはダジャレ・思い出・チョット下ネタと喜怒哀楽にあふれた、ライン上で「川柳を楽しむ会」として5月から12名でスタートしました。

(古賀え)



例会で展示された写友会作品



健全性について

竹原英作会員 No62

春以来健康を損ねている。病名は慢性心不全。心肺機能の衰えにより、体を動かすと直ぐ息切れする。片道 7～8 分のスーパーまで、途中休憩せずに歩くことが困難な始末。医師は心筋梗塞の予備軍だと言う。91 歳ながら何時までも予備軍でいたいものだ。

さて「健全なる精神は、健全なる肉体に宿る」と言う古い格言がある。逆に不健康だと精神的にも不健全になる訳だが、果たしてそうか。少し反省してみる。年齢的に、新しいことに取り組む意欲は衰えたが、あまり不健全になったとの自覚はない。ここで健全性の定義は勝手にしているのだが、気が付いたことがある。以前程々に健康であった頃から、精神状態は元来不健全ではなかったか？

否定する自信はない。良い加減に生きた男の総括である。



いたずらかラスにご用心

住 百合絵会員 No.59

楽しくて面白い大昔の話をします。健康維持のためにゴルフを始め、シングルプレイヤーの兄や常連のお客さまとプレーすることになりました。お店も今とは違って結構忙しく、前日の売上金を持ったまま翌朝ゴルフ場へ駆けつけました。ゴルフ場はどこも鴉が多く、ボールを盗られたとか、お菓子を持って行かれたとかの話を沢山聞いて笑っておりました。

忘れもしません!門司ゴルフ倶楽部の高台打ち下ろしホールが出来事です。その日は風が強く、突然キャディーさんが「住さ〜ん」「住さ〜ん」と大声で呼びます。振り向くと



鴉が私のゴルフバッグから、昨日の売上金を持って逃げようとしてるんです。捕まえようとした途端強風が吹き、お金が飛んで行きました。皆も私も大騒動で、ゴルフ場の支配人まで来て探してくれましたが、もう後の祭り。プレー後、フロントへ行くと半分くらいは戻ってきていました。それからゴルフの時は気を引き締めてラウンドするように心がけました。皆さんも気を付けてプレーを!そして鴉に注意を!……と笑いのうちに話は終わりました。

ゆったりとした語り口で会場を和ませた楽しいひと時でした。ところで、失くした金額はどのくらいだったのか、聞いてみたいと思いませんか。(内藤)

ホームページ更新しました

ホームページを作ったものの、これまで更新していなかったため、一部更新しました。家で例えるならば玄関に当たるホーム画面の写真を固定することなく、お茶会、植樹、角島ツアーの写真を順次表示、見た目の活気をだしました。さらに中の活動報告も「角島に行きます」の予告から「行ってきました」に変え、現地での写真も掲載しました。また、月報も新たに掲載するコーナーを作りました。しかし、同好会、委員会活動の写真や記事は以前のままで、今回差し替えることを見送りました。同好会、委員会の世話役の方、会員の方でも結構ですので、新情報の提供をよろしくお願いします。また、動画の掲載も考えています。ぜひ、イベントを動画で撮って送ってください。(安高)

「グリーンキャンペーン」参加中止

8月10日「第39回小倉都心部グリーンキャンペーン」が開催されました。今回は感染者増と猛暑のため希望者は1名でしたので、参加は中止といたしました。本クラブは長年協力してきましたが初めての中止です。次回は是非お集まり下さい。

ありがとう BOX メッセージ 7月分(五十音順、敬称略)

★感謝です。(遠藤) ★気が付けば皆勤、お世話になりました。(大石) ★今日も歩けたと独り言。(大川) ★総会終了また1年間ガンバリマス(神田) ★総会おめでとうございます(古賀え) ★2022年度定期総会無事終了で、新たな新年度で頑張ります。(古賀靖) ★またまたブリ返すコロナ。うっとうしい限り。(近藤哲・弘) ★これ以上コロナが広がらない様に祈ります。(柴村) ★今日はスピーチ聞いてくださり有難うございました。(住) ★総会が終了しホッとしています。(住吉) ★(竹原) ★皆さんのご協力で月報を発行出来ました。感謝です。(内藤) ★健康第一(中山) ★ランチ美味しくいただきました。(橋本) ★いつも元気をいただいています。感謝(藤原) ★梅雨が明けたのに大雨の所があって大変ですね(洞) ★(松本) ★(眞鍋) ★(安高) ★今年の夏は早く来た(吉田信)

収支報告	6月末残高	133,140 円
	7月分収入(例会)	11,115 円
	7月末残高	144,255 円